



vol. 283

発行 今井町町並み保存会
 発行日 令和6年1月1日
 電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
 e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
 ◇ご意見・ご感想は
 今井景観支援センターまで

新年を迎えて

中西 知

新年あけましておめでとございます。

昨年は、当保存会が催す事業に今井町重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念事業という冠をつけて数々のイベントを実施させていただき、それぞれコロナ禍を忘れさせる成果を上げることができました。これも偏に日頃から当保存会の諸活動にご理解とご協力を下さる住民皆様のお蔭と厚く心から感謝申し上げます。

さて、12月17日午後、華薨においてNPO法人今井まちなみ再生ネットワーク主催の調査報告会が開かれました。神戸大学大学院生の藤井建人さんが「今の今井」という題で発表しました。

「今の今井」

国勢調査のデータに基づき、重伝建選定後の1995年と2020年を比較すると、人口規模はほぼ同数を維持しています。が、保存地区内と地区外の人数は完全に

今井町の人口、世帯数、年齢別人口、家族・家の状況

		1995年	2020年
人口	保存地区	1,469人	879人
	保存地区外	990人	1,425人
世帯	保存地区	476	394
	保存地区外	406	672
年齢	65才以上	452人	662人
	15-64才	1,696人	1,289人
	14才以下	308人	279人
家族	核家族	486人	549人
	単独	234人	439人
家	戸建	473戸	519戸
	共同住宅	151戸	361戸
	長屋	203戸	112戸

逆転。人口の高齢化が進み、生産人口は減少。14才以下の子供の人口は減少幅が少ないのが顕著です。家族の状況は独居の方が87%増で、親族同居の減少や子世代の転居による影響が顕著に現れています。家の状況は、保存地区内で長屋が減少する一方、保存地区外で戸建て住宅やマンション開発が進んでいます。地区内の長屋は持家化し、細分化して借家率は60%を下回る状況ですが、依然として借家率の高さは今井町の特徴です。

続いて、今井町の長期居住者(今井町で生まれてずっと住んでいる方)や新規転入者(今井町に10年以内に入居して来た方)にヒヤリングを行い、今井町内での住み継ぎが多様化している状況の下、次世代(子世代)への住み継ぎが段取りできていないのが課題であると指摘しました。

「今の今井」の発表を聞いて

私がこの報告会で感じたことは次の通

りです。重伝建選定後30年を経て町並みは見違えるほど美しく整備されました。しかし、保存地区内の人口減少、高齢化、独居化は著しく進んで閑静な住宅地と言えども聞こえが良いが、銀行の支店がなくなり、コンビニさえもない老人にとって不便な町となっているのも事実です。昨今、観光客が増えて観光客目当ての飲食サービス業が増加しています。町内に居住して商いをする事は町の活性化に役立ちますが、町内に居住することなく、昼間だけの商いで各町内での付き合いのないお店の店はご近所に迷惑だけをまき散らし、良好な住環境を破壊することになって、京都などで問題になっているオーバーツーリズムが今井町内にも内在していることを忘れてはならないと思います。

静かな住宅地から、日常の買い物に便利な町、子供が遊びまわれる町を視野に入れた、生活しやすい町の在り方について、保存地区内外を問わずに、次世代への住み継ぎ方等、幅広い意見交換と、「今井町の現状と将来」についてをベースにした共通認識を考え活動することによって、今井町に住み続けたい方、住むために転入してくる方が増える町にしたいなあと思います。最後に、今年も今井町が明るく元気な町になるよう活動してまいりたいと存じますので、ご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。



今井町(欄原)名所、切手に

江戸時代の町並みが残る欄原市今井町が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて10周年を迎え、日本郵便(東京都千代田区)が、町を題材にしたオリジナルの切手を発売した。

今井町(欄原)の町並みを今なお残す町をテーマにしたオリジナルの切手が発売された。

今井町(欄原)の町並みを今なお残す町をテーマにしたオリジナルの切手が発売された。今井町(欄原)の町並みを今なお残す町をテーマにしたオリジナルの切手が発売された。

オリジナルフレーム切手 贈呈式

「中世の町並みを今なお残す町」

12月8日、今井町が文化庁により、重要伝統的建造物群保存地区に選定されて30周年を迎えることを記念して、日本郵便近畿支社がオリジナルフレーム切手「奈良 欄原今井 中世の町並みを今なお残す町」を発売しました。

重伝選定30周年 「全国に魅力発信」

江戸時代の名所をテーマにした切手が発売された。今井町(欄原)の町並みを今なお残す町をテーマにしたオリジナルの切手が発売された。

重伝選定30周年 「全国に魅力発信」

江戸時代の名所をテーマにした切手が発売された。今井町(欄原)の町並みを今なお残す町をテーマにしたオリジナルの切手が発売された。



同日、10時からは稱念寺本堂においてマスコミ関係者、郵便局関係者臨席のもとで贈呈式典が行われ、日本郵便近畿支社奈良県中和地区連絡会欄原部会長の石田善久、畝傍郵便局長から今井町自治会の米川憲久会長と今井町町並み保存会の中西知会長に1シートずつ切手が贈呈されました。

このフレーム切手(写真)は、1シートに今井町の10枚の写真を入れた84円切手を1,330円で、主に欄原市を中心とした中和地域102の郵便局で500シート、日本郵便の公式通販サイト「郵便局のネットショップ」で100シート販売される予定です。

稱念寺本堂で贈呈式の後、今井慶子住職を囲んで記念撮影



なお、今井町関連のオリジナルフレーム切手の発売は今回が2回目です。第一回目は、2012年11月に「欄原今井町散策 稱念寺と今井の町並み」というテーマで中和地域の郵便局で1,000枚発売されました。

2回連続で防災訓練実施

11月12日、12月10日

今井町自治会では、防火が重要となる季節を前にして、11月12日午前中と12月10日午前中に2回連続して防災訓練を実施しました。

11月は稱念寺裏の消火栓にホース収納庫から取り出した消火ホースを接続する訓練。12月は今井地区公民館において消防団第9分団の指導と協力の下、まずは初期消火としての消火器の使い方、水消火器を使って模擬消火訓練。人の背丈までの火災であれば、消火器による初期消火は有効であること、火事を発見したら何よりもまず大声で「火事や!」と叫んで周囲の人に知らせることが大事であるとの指導を受けて皆さん必死に大声を出して訓練に取り組みました。その後は実際にホースによる放水訓練で水圧の強さを身をもって体験しました。

今回の訓練は4月から新たに区長になられた方や体験済みの方も繰り返し体験することで習熟度を上げる目的があります。